

平成29年度 IT利活用促進事業費補助金

1 目的

札幌市内の中小企業が、自社の経営課題の解決に向けた取り組みにおいて、ITの利活用を行うために発生する費用の一部を補助することにより、市内中小企業の競争力及び成長性を高め、札幌市経済の活性化に寄与することを目的としています。

2 補助対象者

札幌市内に本社を有する中小企業者及び企業グループ
ただし、IT産業を主たる事業として営む会社及び個人は除きます。

3 補助対象事業

自社の経営課題(自社の商品やサービスの高付加価値化を図る、更なる販路を拡大する、あるいは、業務効率化を図るために自社業務を改善する等)を解決するために、ITの利活用を行う取り組み。

4 補助金額

補助対象経費の1/2以内、上限額200万円

5 補助件数

5件(予算1,000万円の範囲内で実施)※ 上位5件の補助金額が予算上限に満たなかったことから本年度は6件採択(平成29年度採択案件)

- ・社内データベースの構築による営業・技術・総務部門の業務標準化と連携強化(五島冷熱株式会社)
- ・化合物の化学的・生物学的データ管理のためのグラフデータベースの構築(株式会社スカイシーファーマ)
- ・設備工事業務支援システム開発事業(大真エンジニアリング株式会社)
- ・会社統合ネットワーク及び利用者データベースシステム構築による業務生産性向上と顧客対応力向上(社会福祉法人楡の会)
- ・訪問入浴介護における電子カルテシステム構築事業(三井ヘルスサービス株式会社)
- ・タイヤ保管管理システム(webシステム版)(モス物流プランニング株式会社)

6 補助対象経費

本事業実施に係る市内中小IT企業者※1との間で発生する以下の経費

- ハードウェア購入費及び使用料
- ソフトウェア購入費及び使用料
- ソフトウェア開発委託費

※1 札幌市内に本社を有し、IT産業を事業としている中小企業者

7 募集期間

平成29年4月24日～7月28日

8 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 情報産業振興部

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10 札幌市エレクトロニクスセンター

TEL:011-807-6000 FAX:011-807-6005 URL:http://www.sec.or.jp

※平成30年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

有限会社プロケア (平成28年度採択企業)

児童発達支援・放課後等デイサービス業務管理システム

- 所在地/札幌市北区篠路2条7丁目6-30
- TEL/011-776-5515 ●FAX/011-774-5539
- 代表者/中公 康宗
- 設立/2000(平成12)年2月 ●従業員数/47名
- URL/https://www.procare.jp/

児童発達支援・放課後等デイサービス「ゆうあい」と「ひだまり」に加えて、高齢者対応型グループホーム「ゆうあい」を営む有限会社プロケア。これまで、手作業で別々のエクセルファイルを使って利用者の記録や管理を行ってきた。こうしたデータをひとつのパソコンソフトウェアで一元管理をすることで、事務作業が大幅に軽減。転記ミスが減り、空いた時間を利用者へのサービス向上につなげている。

いくつもの手書き書類の山から開放、事務作業を独自システムにより短時間で正確に

煩雑な事務作業にミスや遅れが

発達の遅れや障がい、心の悩みなどを抱える子どもたちと、子どもの発達に不安を抱えるその家族に対して、一人ひとりの成長を多様な視点で適切な療育支援を提供する「ゆうあい」と「ひだまり」施設。国の制度によって定員が決まり、1度に利用できる人数も定められている。同社では2つの施設で定員が40名。それぞれに対して、月末に提出する記録や書類の管理に頭を悩ませていた。

利用者の保護者に対してはアナログのやりとりからスタートする。翌月の行事一覧を記入したカレンダー形式の紙を渡し、参加希望の日程をマル印で記入してもらう。このカレンダーをベースに学校からの送迎時間一覧表を作成。毎日の送迎にロスやミスがないようにしている。個別の利用日数表や全体の月別利用集計一覧など、各台帳記録を別々の手入力ファイルに打ち込み集計していた。手作業ゆえミスも多く、関係各所に迷惑をかけてしまうこともあったという。

業務支援ソフトが完成

事務担当者などが中心となってこうした状況をパソコンソフトで一括管理できないものか、と案案していた。そんな折、「IT利活用促進補助」の存在を知り、担当者が説明会に参加したことから本プロジェクトがスタートした。職員へのヒアリングを通して業務と

書類の流れを把握。それをシステム開発の専門家に伝えることに苦労した。結果、1年ほどの時間を要して業務支援ソフトが完成。2017年の春に運用をスタートした。

できるだけ使いやすいようにと、専用ソフトを開いた画面では、直感的にわかるスタート画面にしてもらった。各個人の基本データベースを登録しておき、後は毎月の利用日などを1カ所に入力する。すると関係する各書類に反映され、一覧データも瞬時に作成・出力できるようになった。事務作業から開放された同社では、空いた時間を利用者のために使っている。

使いこなして作業効率を上げたい

導入してだいぶ操作に慣れてきました。もっとスムーズに使いこなして作業効率をあげられればと思っています。かなり高性能の当社にマッチした管理システムですが、国の書式に連動していない部分もあります。今後はその部分も連携できるようにすれば、もっと働き方改革につながっていくように思います。

管理者 佐藤 昌彦



直感的に使える操作パネル



月間カレンダー形式の入力画面



これまで使ってきた紙書類の一部



パソコン画面のスタートアイコン

